

第2840地区 第2分区B 5RC ロータリーデー植栽事業寄贈式報告書

日 時：2018年4月13日（金・大安） 14時より
場 所：伊勢崎駅北口公園予定地（北口西側トヨタレンタリース前）
報告者：伊勢崎ロータリークラブ 地域社会奉仕チームリーダー 加藤 学
寄贈品：樹木（ドイツトウヒ） 1本、記念樹プレート 一基

本年度、当地区田中ガバナーよりロータリーデーに因んで、分区単位による共同社会奉仕活動の実施が要請されております。それは、RI イアンライズリー会長の2018年4月22日の「アースデー」までに120万人の全ロータリアンが樹木を1本ずつ植えることを呼びかけていることに呼応するものであります。そのことを受けて、昨年末より伊勢崎市と協議し、公共施設での植栽適切地を検討してまいりました。しかし、樹木は年と共に大きくなることから、植栽後の維持管理等の問題もあり、植栽地の選定に紆余曲折がありました。その結果、一人一本ではなく5ロータリークラブの思いを一つに、大きなドイツトウヒを伊勢崎市のシンボルとなる駅北公園予定地に寄贈することに決まりました。

伊勢崎市中心市街地整備事務所は、植樹されたドイツトウヒを中心に公園の整備計画を進めるとのことで、今後の駅北開発に伴い、伊勢崎市における5ロータリークラブの公共イメージの向上にも資するものと期待しております。

寄贈式当日は、田中ガバナーが早々にお越しになり大変恐縮いたしました。行政からも五十嵐市長他、六本木都市計画部長、久保田市中心市街地整備事務所所長他職員の方々もお越しになりました。5ロータリークラブからも会長、幹事他12名が参加いたしました。式典の様子は、寄贈式の翌日に早速、上毛新聞に掲載されました。幹事クラブである伊勢崎ロータリークラブ石田会長から「植樹したドイツトウヒをきっかけに、住民の憩いの場となる公園にしてほしい」と挨拶があり、その後、五十嵐市長から「いただいた樹木は、北口公園のシンボルとなる。にぎわい創出に活用したい」とお礼の言葉をいただきました。

最後に余談ではありますが、今回植樹した「ドイツトウヒ」の花言葉は、「逆境の中の希望」だそうです。

寄贈式にご参加いただいた方々におかれましては、春の強風の中、大変有難うございました。



幹事クラブ伊勢崎RC 石田保会長 挨拶



国際ロータリー2840地区 田中久夫ガバナー 挨拶



五十嵐市長様 挨拶